



# ま く よ う

～ 日々錬磨 学び合い 健やかに～

菊陽中学校学校だより No 7  
令和2年6月26日(金)発行

## 7月のスタートに当たって…。

7月(しちがつ)はグレゴリオ暦で年の第7の月に当たり、31日ある大の月である。日本では、旧暦7月を文月(ふづき、ふみづき)と呼び、現在では新暦7月の別名としても用いる。文月の由来は、7月7日の七夕に詩歌を献じたり、書物を夜風に曝す風習があるからというのが定説となっている。しかし、七夕の行事は奈良時代に中国から伝わったもので、元々日本にはないものである。そこで、稲の穂が含む月であることから「含み月」「穂含み月」の意であるとするとする説もある。また、「秋初月(あきはづき)」、「七夜月(ななよづき)」の別名もある。

英語での月名、Julyは、ユリウス暦を創った共和政ローマ末期の政治家、ユリウス・カエサル(Julius Caesar)からとられた。カエサルは紀元前45年にユリウス暦を採用すると同時に、7月の名称を「5番目の月」を意味する"Quintilis"から自分の家門名に変更した。なお、8月の英名Augustはアウグストゥスにちなんでいる。7月の異名としては、おみなえしづき・(女郎花月)、たなばたづき(七夕月)、ななよづき(七夜月)、りょうげつ(涼月)などがある。時候の挨拶としては「盛夏、盛暑、酷暑の候～」を用いるが一般的である。(【wikipedia】引用・改)

梅雨入りして約2週間が過ぎました。入梅直後の大雨にはずいぶんと心配しましたが、まだまだこれからが本番です。今後の雨の降り方には十分注意していきましょう。

### ようこそ菊陽中へ 山本奈緒美先生

今週、火曜日より美術を担当していただいています山本先生を紹介いたします。(自己紹介文)

「美術科を担当します山本奈緒美です。出身は熊本市です。皆さんと楽しく学べるように精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。分からないことも多いので、ぜひ色々とお教え下さい。」早速、きれいな字で書かれた自己紹介文をいただきました。打合せ時に先生の作品を見せていただきました。油絵をはじめ素晴らしい作品がたくさんありました。個展も開かれているようですよ。よろしくお願ひします。



### 町教委の学校訪問がありました。

今週の火曜日に、標題のとおり菊陽町教育委員会の学校訪問あり、上川教育長はじめ3人の先生方に訪問いただきました。例年であれば、教育委員さんにも来校いただくところですが、今回は規模を縮小しての訪問でした。現在の学校の状況を説明し、実際に授業の様子を参観いただきました。落ち着いた授業の様子や整備された学習環境をたくさんほめていただきました。特に1年生の落ち着いた授業態度には小学校からの成長を感じていただいたことと思います。指導主事年度の中部小の教頭先生です。懐かしそうに、そして成長に驚かれた様子が印象的でした。

### 【編集後記】～「6月の満月は、ストロベリームーン」～

▼早いもので6月もあとわずか、今年も半分が終わる。6月の満月はストロベリームーン。収穫の時期を迎えたイチゴにちなむ。ちなみに1月はオオカミ、2月は雪、3月は地虫…。米国の先住民は、すべての満月にそんな愉快な名前を付けた。狩猟や農耕の暦を反映させたようだ。赤く染まった月が熟したイチゴを思わせ、縁起が良いのか、ネット上では「願いが叶う」「好きな人と結ばれる」ともてはやされる。「月に関するロマンチックな話題や月に関する思い出は、天文に関心をもってもらう入り口になります」とは鹿児島県始良市立天文台の上田館長(66)。▼月が赤く見えるのは朝焼けや夕焼けと同じ原理。大気中の水蒸気の多いこの時期、昇り始めの月は赤く見える。山火事かと思うくらい赤い月が、黄色に変わり、色が抜けたように白くなる。劇的な変化はドラマチック。▼上田さんによれば、コロナ禍の自粛生活は、星空観察に限っては好条件だった。日本に限らず、世界的規模で市街地の灯は落ち、夜空は格段に暗くなった。車の往来が減り、空気がきれいになったせいだ。▼大気汚染が深刻なインドや中国でも、感染防止の都市封鎖によって大気は浄化された。ただ、NASA(米国航空宇宙局)によれば、厳戒態勢を解けば元の本阿弥(もくあみ)に。すべてが人間の営みによるものであることを痛感する。▼6月の満月は7日であった。天気にも恵まれ夜空に特大のイチゴが拝めたに違いない。そう言えば、21日夕には各地で部分日食が観測され多くの人々を魅了した。本校が進める道徳科の授業では「美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること」を指導する項目がある。もうすぐ七夕。今年は彦星と織り姫は出会えるだろうか。まさかのマスク姿にソーシャルディスタンス(?)はないよな…。煌々(こうこう)と輝く月や、星座の煌(きら)めきには思わず息をのむ。自然が織りなす美しさや神秘さ、そして、時折見せる「恐れ」や「緊張」を前に、人間の力は到底及ばない。

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。



保護者名 ( )